

庄内麦情報

第2号

平成31年4月15日

庄内総合支庁 産業経済部

農業技術普及課

TEL (0235) 64-2103

FAX (0235) 64-2104

麦の出穂期は平年より早まる見込み！ 防除適期を逃さないようにしましょう。

本年の融雪は、平年に比べ早くなりました（鶴岡市藤島 水田農試：根雪終了2月20日）。さらに、3月中の気温も高くなったため、麦の生育は平年より進んでいます。

大麦の生育は（4月9日現在）草丈20～40cmで、生育の進んでいるものは4月21日頃の出穂となる見込みです。小麦の生育は草丈25～30cmで、前年度に比べると出穂は大きく早まりそうです。

赤かび病の防除時期は田植作業の時期と重なりますが、赤かび病粒が1万粒に5粒以上（0.05%）あると流通できなくなります。適期防除に努めましょう！

表1 4月9日の管内の麦の状況（三川町押切新田、普及課調べ）

品種	草丈 cm	幼穂長 mm	平成31年の出穂期 ()内は予測	平成30年の 出穂期	平年の 出穂期
大麦 (シユライ)	40	25	(4月21日頃)	4月20日	4月27日
"	20～30	7	(4月29日頃)		
小麦 (ナンブコムギ)	25～30	5～8	(5月4日頃)	5月16日	5月11日

※出穂期とは、ほ場全体の40～50%の穂先が抽出した日です

表2 赤かび病の防除適期目安

出穂期	赤かび病防除の目安	
	1回目	2回目
4月21日(大麦)	4月26～28日	1回目の 7～10日後
4月29日(大麦)	5月4～6日	
5月4日(小麦)	5月9～11日	

赤かび病の防除時期は開花期（出穂期の5～7日後）とその7～10日後です。

出穂期予測を参考に各圃場の出穂期を確認し、適期防除を行いましょう。